

新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴う臨時の医療施設、 いわゆる「野戦病院」設置等に係る要望について

新型コロナウイルス感染症は、変異株・デルタ株による感染急拡大が起きており、病床逼迫の状況にあります。そこで、重症者・中等症者・軽症者がそれぞれ、適正に医療が受けられることを求めます。特に、中等症者・軽症者については、入院困難を避けるために、臨時の医療施設、いわゆる「野戦病院」又はコロナ専門病院の設置等を求めるものです。

本県では、知事のリーダーシップにより、他県に先んじて県営ワクチン接種センターが稼働したことにより、ワクチン接種率が常に最上位にあります。しかし、新型コロナウイルス感染症の第5波は、本県においても連日新規感染者が300人を超え、過去にない感染拡大が起きております。この難局を乗り切るために、緊急事態宣言地域となっている本県において、国・県に対し、入院病床の確保と効果的な治療等を進めるために、下記のとおり対策をお願い申し上げます。

記

1 臨時の医療施設について

- ・ 現在の病床逼迫から、希望者には、できる限り、入院治療を維持するために、軽症者・中等症者の受け入れ先として、臨時の医療施設、いわゆる「野戦病院」又はコロナ専門病院を設置し、集中的に医療提供する場所を確保すべきであります。
- ・ 臨時の医療施設設置の実現に向け、大規模施設・体育館又は病院施設等の会場及びベッド・酸素吸入器などの医療機器を確保すると共に、不足する医療従事者を医師会・看護協会等から協力を得て、必要人数を確保できるようにしていただきたい。

2 抗体カクテル療法について

- ・ 重症化リスクのある軽症者は、感染初期に、効果的に治療を受ける必要があり、臨時の医療施設にて、薬を確保し、抗体カクテル療法が施せるようにしていただきたい。

3 新型コロナ感染症対応地方創生臨時交付金における配慮について

- ・ 困っている中小事業者への支援のために、出来るだけ早期に支援に取組めるようにしていただきたい。
- ・ 新型コロナ感染症の防止対策等を強化するため、県及び市町村が地域の実情に応じて、対応できるようにしていただきたい。

令和3年8月26日

群馬県知事 山本 一太 様

群馬県市長会長 清水 聖 義

